

児童デイサービス月のひかり

放課後等デイサービス評価表等集計結果の公表について

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、「児童デイサービス月のひかり」において「事業者向け自己評価表」並びに「保護者等向け評価表」による評価を実施いたしましたのでその集計結果について公表いたします。評価結果を踏まえて、事業所全体で改善点を話し合い現在も検討を継続しているところです。

また、今年も月のひかりとして独自にアンケートを行いました。進路や地域サービスについて、今後の勉強会等で取り上げるテーマなどたくさんのご意見を頂きました。これについての回答や対応は、利用者の方々へ直接文書で回答し、HP上でもお伝えしていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

ご協力ありがとうございました。

令和8年2月

児童デイサービス月のひかり

所長 村上実

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス月のひかり		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55名	(回答者数) 52名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	行動障害への理解とアプローチ支援	様々な障害特性の理解のための研修と、行動障害を呈している児童への丁寧な支援を行っています。 不適行動を呈している児童へは、必要に応じてマンツーマン対応をして集団生活への適応とそのための環境設定を行っています。	強度行動障がい支援者養成研修の履修者は支援スタッフ9割になります。そのうち実践研修履修者は7割を超えています。フォローアップ研修も受講しながら行動障害児の支援向上に努めています。
2	学校休業日等の体験型プログラムの強化と意思決定支援	そのお子さんにとってどのような体験が必要か、年齢、特性、生活環境、家庭状況等を考慮し活動内容をチームで検討しています。また将来の意思決定に繋がる大切な経験と考え支援しています。	現在学校休業日に限定しているプログラムを平日のプログラムにも反映させていきたいと思えます。
3	関係機関連携への積極的な取り組み	今まで参加対象者が限定されていた学校卒業時の移行会議に、放課後等デイとして参加できるようになりました。その他必要な時期に必要な情報共有を目的としたケア会議を学校や関係機関と開催しています。 要保護児童対策地域協議会への参加も増えていて、要請があれば積極的に参加しています。	事業者間連携も自立支援協議会の声掛けで、「事業者の会」が発足しました。事業者間で横の連携も大切にしていきたいと考えています。
4	丁寧な家族支援 法人内の他の事業所の情報提供	保護者の方の就業支援のため延長支援を柔軟に提供しています。併設の短期入所事業と併せて家族の介護負担の軽減に繋がるよう支援しています。 将来の進路や地域生活を想定して、法人内の大人の事業所の様子や社会制度等の情報提供を勉強会として定期に開催しています。	法人内の生活介護・グループホーム等の利用状況や費用の話を見学の機会も設けながら実施しています。 今年度は「成年後見制度」について仕組みや活用方法などをお伝えしてきました。今後も継続して有益な情報をお伝えしていきたいと考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画の提示の遅れ	60名近い利用児童の支援計画が定期的にモニタリングや家族面談が遅れる事があります。	スケジュール管理とプラン会議の計画的な開催を実施していきます。 就業されている保護者様との面談提示もできるだけ都合に合わせて早期に実施していきます。
2	地域に開かれた事業運営	直接地域の方を招待するような行事の企画は現在ありません。施設自体に来ていただくことが開かれた施設とはならないと考えています。	月のひかりが考えるインクルーシブは、普通に日常的に地域社会資源を利用活用する中で、地域の方々と出会い自然に相互理解ができる機会を大切に実践しています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
児童デイサービス月のひかり		令和8年2月20日				54	49	
		利用児童数				回収数		
		はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見		
						ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	98%	0%	0%	2%	契約時と面談の時しか中を見たことがない。	お仕事をされているご家族の方も多いので個別に見学の機会を設定していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	84%	2%	0%	14%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	84%	4%	0%	12%	設備がどうなっているか見学時に拝見しましたが、今はあまり覚えていない。	特別な設備はありませんが、個室を感覚過敏なお子さんに効果的に使用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	88%	6%	0%	6%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%	6%	0%	4%	本人戸惑いがあったが、色々対応を考えてもらった。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%	6%	0%	4%		法人HPに掲載していますが、再度個別にも配布させていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%	6%	0%	4%		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	88%	6%	0%	6%		ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備として、生活介護やグループホーム等の内容を勉強会を通じて情報提供しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92%	4%	0%	4%		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	6%	0%	2%	様々な活動を企画していただき、子供たちも楽しみにしていると思う。	お子さんとゆっくり関わられる長期休みに、様々な体験型のプログラムを提供しています。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	31%	20%	8%	41%	交流はもともとしていない。	ご家族のご意見は様々ですが、お子さんの人生で地域社会との接点は不可避です。できる限り相互理解を求めています。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90%	6%	2%	2%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92%	8%	0%	0%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	76%	12%	4%	8%		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	98%	2%	0%	0%	送迎時、活動の様子を伝えてもらえる。	課題があれば、学校や他放デイと連携し共通理解を深めるようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	67%	16%	8%	8%	面談が遅れている。どのように過ごしているのか面談等で教えて欲しい。	一部面談が遅れています。定時に開催できるようにしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92%	2%	0%	6%		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33%	22%	8%	37%	参加したことがなくわかりません。今年度はまだ開催されていません。	遅れましたが、2月26日に若年期のグループホームの利用について勉強会を開催します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	86%	8%	0%	6%	質問や問い合わせには説明していただいている。	事業所からも色々お聞きしたいことがありますのでよろしくお願いいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92%	6%	0%	2%	送迎時その日の話を聞けます。連絡帳の活用や送迎時その日の活動内容など教えてもらえる。	タイムリーにお伝えすることが大切だと考えております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	82%	8%	0%	10%	毎回のお便り楽しみにしている。写真がたくさんあって様子が分かりやすい。	法人HPのブログでも紹介しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	96%	0%	0%	4%			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	84%	6%	0%	10%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	59%	4%	0%	37%	あるのだと思うがわからない。	実施していますが、利用曜日によってお知らせできない場合があります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	92%	2%	0%	6%		全員に「安心安全のための対応マニュアル」を配布していますが、再度お配りさせていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	84%	4%	0%	12%	事故、怪我がないのでわからない。	事故が起きた場合は迅速に対応し改善報告までさせていただきます。必要に応じて行政にも報告しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	98%	2%	0%	0%	子供も親も安心して利用している。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	いつも楽しく通わせていただいている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	98%	2%	0%	0%	分からない事はお聞きするようになっている。色々な体験をさせてもらっている。	更に満足して頂けるように努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス月のひかり		公表日		令和 8年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	92%	8%	個室等もあるので、スペースを作りやすいと思います。音に対する配慮が難しい場合があります。	聴覚過敏のお子さんの配慮としては十分とは言えないので、常に工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	基準より多く配置して加配加算の取得をしています。	マンツーマン対応のお子さんが多いので常に人員は不足気味です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92%	8%	パーテーションが設置されていますが、バリアフリーにはなっていません。	二階建てなので階段の昇降に関しては常に見守りをしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	92%	8%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	92%	8%	個室があり、パーテーションも活用しています。過敏な特性に合わせ個室を利用しています。	個室の数に限りがあるので、効率よく利用できるように工夫をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	85%	15%	法人で各領域ごとに委員会や係りがあり、業務改善や効率化を定期的に話し合っています。	他事業所からのスーパーバイズできる体制を作っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	いつもご協力いただき貴重なご意見を頂いています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	ミーティングや支援会議等で行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	85%	15%	苦情解決の第三者の方へ保護者アンケートや自己評価、苦情等を報告しご意見を頂いています。	サービス評価の第三者評価は未実施です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部、内部ともに充実していますが、時代やニーズに合った内容が常に見直しが必要です。	基準で定められた研修が多く、自主的に参加したい研修が少なくなっています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	92%	8%		モニタリング、アセスの更新が遅れることがあるので、適宜に作成提示できるようにしていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		利用回数が少ないお子さんに関して、計画した方針がうまく実践できないことがあります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	家族支援は大きな柱として考え、家庭の安定がありお子さんの成長があるという信念のもと力を入れています。	連携に関しては、その時々課題や進路について関係機関との連携を行っていますが、学校等の温度差で開催できない場合もありました。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	ミーティングの時間を設けて、全員が参加できるようになっている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	固定化したプログラムではなく、その日によって様々なプログラムを提供出来るようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	支援度の高いお子さんには個別活動をメインに、状況に応じて集団活動への参加も促します。	高学年のお子さんの利用時間が短いため十分な支援ができていないか課題となっています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	ホワイトボードに支援内容や児童、職員の名前を書いて、その日の担当や役割をわかりやすくしています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日の支援の振り返り時間を設け、全員が参加できるようにしています。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%	0%	特に創作活動は、地域の芸工大生の協力を得て一緒に活動する機会を作っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	選択できるお子さんには、個別のツールを使って意思を確認しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	各連携会議等は優先順位を上げながら必ず参加できるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	同上	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	毎日利用児童全員の調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	85%	15%	直接は行っていませんが、担当相談を通じて情報を集めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	情報共有のための移行会議には必ず参加しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	85%	15%	センター主催の研修会には参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	62%	38%	地域の公園や遊戯施設を積極的に活用している。ご家族の意向を聞き、交流の場をつくっている。公園等で一緒に遊ぶことはあります。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	放デイ等事業者の会にも積極的に参画しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の連絡帳を介して、必要に応じて個別に話し合いの機会を作っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	92%	8%	2月に開催予定です。今回はグループホームの活用についてです。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		提示が遅れる場合がありますが、適宜に提示できるようにしていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	77%	23%	兄弟等は実施していません。保護者の研修の機会をつくると共にどのような研修を望んでいるかアンケートをしています。	地元の親の会への入会等、お知らせしてしています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情はもちろん、児童からの要望も尊重し対応できるところは対応してきました。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	毎日の連絡帳、臨時のお知らせ、法人HPを通じてタイムリーにお伝えしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	取り扱い方法をお伝えし、同意書をいただいています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	コミュニケーションツールはご家族とも連携しながら提供しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	69%	31%	招待はしていませんが、地域の行事には参加しています。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	77%	23%	マニュアル作成し配布済ですが、訓練は年度中に行う予定です。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	アクセスで詳細を確認しますが、定期に見直しも行っていきます。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	家族から食物アレルギーについてお聞きし必要な配慮を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	法人のリスク委員会のメンバーが第三者の視点で危険箇所などの点検を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	家庭掲示用（概要版）を作成しご家族全員に配布しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月1回、前月のヒヤリハット事故等を法人全体で共有し原因を考え再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	権利擁護について、できるだけ具体的な事例を確認しながら、現場に反映できる内容にしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束に至らない支援を常に考えていきます。	

令和7年度 月のひかり保護者アンケート

- 現在、生活全般（学校含む）で悩んでいることはありますか。
 - ・発達の課題（体重身長、身辺の自立、言葉遣い、コミュニケーション、こだわり行動、粗暴行為） 4件
 - ・卒業後の進路について 3件
 - ・ショートステイを利用したいと考えている
 - ・兄弟姉妹へのケアについて
 - ・母子分離について 2件
 - ・ゲーム依存について
 - ・経験の少なさについて
 - ・卒業後の延長預かりの有無について 3件
 - ・余暇の過ごし方について

- 現在、福祉サービスについてこんなサービスがあればいいと思っている事がありますか。
 - ・軽度の児童のサービスが少ないと感じる
 - ・朝の学校送迎支援をしてくれる事業所がほしい 2件
 - ・行動援護、移動支援（外出支援） 4件
 - ・余暇支援（運動など） 3件
 - ・親が学べる講座のようなものがほしい
 - ・ショートステイサービスを増やしてほしい 4件
 - ・祝日にも営業している放デイがほしい
 - ・早朝からの預かりができるところ
 - ・自立支援のためのお泊り体験などがあれば

- お子さんの将来像を、現時点でどのようにお考えですか。（生活介護、就労系、入所、グループホームなど）そう考える理由はなんですか。
 - ・就労継続支援の利用 18件
 - ・子供同士のつながり関係が薄い、集団で活動することへの不安
 - ・就労系と生活介護で悩んでいる 2件
 - ・グループホームの利用（30代前後に利用させたい） 5件
 - ・生活介護の利用 7件
 - ・独り立ちしてほしい 2件
 - ・入所やグループホームの利用を考えている 7件
 - ・本人の意向次第

- ・就労系と生活介護を併用したい
- ・普通高校への進学その後一般就労
- ・一般就労してほしい

●職員の支援について、感じている事があれば具体的にお聞かせください。

- ・子どもが楽しそうに通っている
- ・子どもや親にとってホッとできる場所
- ・日々の活動を伝えてくれるので共有できてうれしい
- ・活動の様子をもっと知りたい
- ・長期休みのプログラムなどでいろんな経験ができてうれしい
- ・家族へも寄り添ってもらえてうれしい

●今後、月のひかりの勉強会等で取り上げてほしいテーマや内容があればお聞かせください。

- ・進路について 4件
- ・グループホームや就労施設等の勉強会及び見学 4件
- ・大人のショートステイサービスについて
- ・先輩保護者さんからのアドバイスなど 3件
- ・学校の現場実習先の情報一覧は参考になった
- ・大人のサービス種類、お金のはなし 2件
- ・自閉スペクトラムのアセスメント方法
- ・障害雇用している企業の話、就労の条件など
- ・成年後見制度について
- ・親亡き後について
- ・愛泉会内の大人の事業所の見学 3件
- ・兄弟との関係性について
- ・医療との連携について

※貴重なご意見ありがとうございました。今後の運営の参考にさせていただきます。

※福祉サービスへの要望は、県の障害福祉課長との懇談会（知的障害者福祉協会として年2回）特に卒業後の預かり時間の延長について深刻な課題だと提言しています。また、ショートステイサービスや緊急受け入れ（現在こもれば1名）の増設も山形市長との懇談会で愛泉会として要望を提出させて頂きました。

※学校の現場実習先の情報は今後も継続して提供したいと思います。